

愛し誇らし、 たけはら暮らし



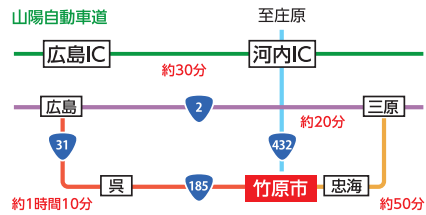
竹原市への主なアクセス方法



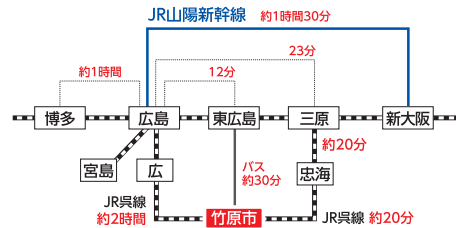
Takehara New Life Guide Book



自動車でのアクセス



新幹線・電車でのアクセス



飛行機でのアクセス

羽田空港 - (約90分) - 広島空港 - (約25分) - 竹原市

竹原市総務企画部企画政策課
TEL:0846-22-0942 FAX:0846-22-0998





暮らすなら、一番幸せになれる場所を選びたい。
 どこかでみんな、そう思っている。
 だから、都会すぎず田舎すぎず
 瀬戸内海の穏やかな気候に恵まれた
 竹原市に「移住」という選択肢があることを
 多くの人に伝えたい。
 好きな人と心地良い空間で
 好きなことをして、笑う。
 夢見る人は多いけれど、叶えた人はきっと少ない。
 そんな人生、今から始めてみませんか。



私たちの「移住ストーリー。」

一足先に竹原市に移住した先輩たちに、ホンネを語っていただきました。



竹工芸作家

竹工芸振興協会 寺本光希さん

【移住前】京都府南丹市 【移住後】竹原市本町
 【移住年】2017年4月

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

竹細工に興味を持ち、京都の伝統工芸学校に入学。夏休みに竹原市を訪れ、とても良い町だと感じました。

Q2. 竹原市への移住の決め手は？

秋に再度竹原市へ。「たけはら憧憬の路」を間近に見て、あまりの美しさに感動し心を打たれたことです。

Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

「竹原まちなみ竹工房」で作品を作っています。経験豊富な先輩職人さんから学ばせてもらえる環境が嬉しいです。現在は他のアルバイトをしながらの創作活動。将来は竹細工一本で自立したいです。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

竹原市は、人と人の繋がりがとても深く、市と住民が一体となって地域を盛り上げていこうという勢いがあります。個人がやりたいことを後押ししてくれ、のびのびと活動できるのも魅力です。



Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

東広島市観光協会に勤めていた時、視察で竹原市へ。海、山、町並み…、地域全体の魅力を肌で感じました。

Q2. 竹原市への移住の決め手は？

地域おこし協力隊として活動する中、人々の優しさに触れ、竹原市に貢献したい思いが芽生えたことです。

Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

竹原市の美味しい農水産物を、もっと皆さんに知ってもらいたいと思い、姉と共に2018年に会社を立ち上げました。一次産業をサポートするため、竹原の特産品をPR、ECサイトの運営や食品製造を行っています。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

竹原には語り尽くせないほど多くの魅力があります。特に自慢なのは食べ物。お米、魚介類、農作物などさまざまな「おいしい」が揃っています。ぜひ一度、竹原に遊びに来てください。ご案内します！



地域振興会社経営



(一社)産業振興支援センターおなし福寿畑 事務局長 酒井望さん

【移住前】広島市佐伯区 【移住後】竹原市小梨町
 【移住年】2014年9月



農家

一笑農芸 代表 小中将史さん

【移住前】広島市西区 【移住後】竹原市高崎町
【移住年】2018年9月

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

28歳の頃、四国のお遍路へ。もともと自然と触れ合うことが好きだったこともあり、一生をかけてできる仕事について考え、農業を営む道を選びました。

元気の野菜を届けます！



やりがいある農業経営



Q2. 竹原市への移住の決め手は？

静岡県の農業系会社で学んだ後、故郷の広島へ。県内で雪の降らない土地を探し竹原市に辿り着きました。

Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

6haの農用地を借り、冬季は主にレタス。夏季は、枝豆やとうもろこしを作っています。土づくりにこだわり、有機肥料70%で栽培。安全で安心、おいしい野菜を皆さんに届けられるよう努めています。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

気候が温暖な竹原市は、農業に適した地です。降雪がないため1年を通して農業に専念できます。特にレタスの生育にはびったりの環境です。農業の大きな可能性を、竹原市で感じてみてください。

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

東京の大手車載電子機器メーカーに10年間勤める中、父が病で倒れ、地元である竹原に戻ってきました。

2019年に立ち上げた新たなホテル



Q2. 竹原市への移住の決め手は？

Uターンを決意して1ヵ月後に父が急逝。まずは葬祭業を営んでいた父の会社を立て直そうと思ったことです。



移住前後の相談は気軽に！

Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

家業の葬祭業はもちろん、道の駅たけはらの運営や、空き家を活用した再生事業等を主に、地域が元気になるビジネスを手掛けています。2019年にオープンしたNIPPONIA HOTELもその一つです。また、移住コーディネーターとして、移住者の相談対応を行っています。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

竹原市はもともと、製塩や酒造りを基盤に、交易で栄えた町です。歴史的に培われてきたフレンドリーな市民性があり、地域の方々は、ウェルカムな雰囲気 皆さんを迎えてくれますよ！



まちづくり会社 いねい!竹原 取締役 福本博之さん

【移住前】東京都江戸川区 【移住後】竹原市本町
【移住年】2009年4月

まちづくり会社経営



レストラン経営

Trattoria M 室岡真人さん 久美子さん

【移住前】神奈川県横浜市 【移住後】竹原市高崎町
【移住年】2017年6月

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

東京のレストランに勤めていた私が、独立開業を決意したことがきっかけです。妻の実家がある竹原市に家族5人で移住しました。

地元の食材を使用！



カウンターにビザ窯！



Q2. 竹原市への移住の決め手は？

決め手になったのは「人」。温かく迎え入れてくれた竹原の人たちの、町を盛り上げようという姿に引かれました。

Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

2017年、JR竹原駅の近くにイタリアンレストランをオープンしました。竹原には地元の人でも知らないような食材が多彩で、豊富です。地域の宝を知ってもらえる一端を担っていきたいですね。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

まずは、休日などを利用して暮らす「週末移住」から始めてみてはいかがでしょうか。竹原市はいい意味で“田舎”。移住の入り口としては最適だと思います。

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

夫とはフランスで知り合い結婚後、2019年に日本へ帰国。レストランを開業したいと考え、物件を探していました。

レトロで居心地の良い空間



Q2. 竹原市への移住の決め手は？

「空き家バンク」で見つけた築100年の古民家。家のたたずまいや、周囲に広がる里山の風景が気に入り即決。20年には1階部分を利用してレストランを開業し、クレープやガレットを提供しています。

こだわりの素材



Q3. 竹原市ではどんな暮らしをしていますか？

竹原は小さな町ですが、生活に必要な物はそろっていて困ることはありません。リラックスして、ゆっくりと暮らせています。休日に釣りをするのが趣味だという夫は「言葉の壁で苦労することはあるが、人の優しさに助けられている」そうです。

Q4. 移住希望者へのアドバイスをお願いします。

市役所や商工会議所のバックアップ体制が整っているので、事前に相談してみるのがおすすめです。



Maison Dion バスカル・ディオンさん 本村 由美子さん

【移住前】フランス(ベルサイユ) 【移住後】竹原市東野町
【移住年】2019年5月

レストラン経営



ここにしか持ち得ない魅力、たっぷり暮らすなら、竹原。

SPOT



A たけはら町並み保存地区

平安時代、京都・下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「安芸の小京都」と呼ばれる竹原。当時の屋敷が残る一帯は、重要伝統的建造物群保存地区となっています。



B まちなみ竹工房

竹かごや置物などの竹工芸品を販売しています。職人に教わる竹細工体験もオススメです。



C 湯坂温泉郷

傷ついた鶴が飲んで癒えたところから「鶴の湯」と呼ばれる、歴史のある良質の温泉です。



D エデンの海パーキング

若林慧の映画「エデンの海」の舞台となった場所。展望台からは忠海沖の瀬戸内海を一望することができます。



E 大久野島

「ウサギの島」として世界的に知られるようになった大久野島。瀬戸内海国立公園に指定されています。



EVENT



さくらフェス

桜が開花する時期に開かれる、食とマルシェと音楽の融合イベント。会場を盛り上げる音楽ステージ、グルメ屋台やフリーマーケットも見どころ。

[開催時期] 4月上旬 [開催場所] ピースリーホームバンパー総合公園



たけはら竹まつり

町並み保存地区を会場に開催される竹をテーマにしたGW恒例のイベント。かぐや姫のパレード、地元酒蔵のお酒飲み比べ、竹細工教室なども。

[開催時期] ゴールデンウィーク [開催場所] 町並み保存地区



町並み竹灯り

～たけはら憧れの路～

5,000本の竹灯籠から溢れるろうそくの灯りで幻想的にライトアップ。まちかどライトアート、酒蔵ライブ、フォトコンテストなど関連イベント盛りだくさん。

[開催時期] 10月下旬～11月初旬 [開催場所] 町並み保存地区



たけはら町並み雑めぐり

竹原の旧家に伝わる江戸時代以降のお雑ま約200組をさまざまな施設に展示。中心地ではお琴や津軽三味線のライブも開催されます。

[開催時期] 2月初旬～3月下旬 [開催場所] 町並み保存地区

主な支援

1 働く【創業支援】

対象エリア内に位置する空き店舗などを活用し、まちなかの賑わいに大きく寄与する創業者に対して助成します。

[詳しくはこちら]



まちなか賑わい創業支援制度

2 住む

市内で空き家となっている物件をHPで紹介。また、移住者が空き家を購入し、居住のために行う改修に要する費用の一部を補助します。

[詳しくはこちら]



空き家バンク制度 竹原市空き家改修移住定住支援事業

3 子育て

通院は0歳児から小学校6年生まで、入院：0歳児から中学校3年生まで医療費を助成。安心して出産・子育てができるようサポート体制も整えています。

[詳しくはこちら]



乳幼児等医療費助成制度 たけはらっこネウボラ(子育て世代包括支援センター)

子育て世帯向け地域優良賃貸住宅「ヴィラS&C」

広島県の「子育てスマイルマンション認定」を受けた子育て世帯向け住宅を地域優良賃貸住宅として供給しています。

特徴：最大で4万円の家賃助成あり！敷金ゼロ！

